

(様式) 平成27年度 那珂川町立小川中学校 学校評価報告書

| 評 価 項 目                                                         | 評 価 | 取組状況・成果・課題                                             | 改善策                                                                                     | 学校関係者評価・第三者評価で<br>いただいた意見等                         |
|-----------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 各学校での目標（重点は○数字）・具体策                                             |     |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| <b>I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況</b>                                    |     |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| 1 愛級、愛校、愛郷の精神を基調として知・特・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。                   | B   | ・ファイトタイム、コミュニケーションタイム、ハートフルタイムなど、特色ある教育活動の展開を図ることができた。 | ・特色ある教育活動を一層効果あるものにできるよう、さらにチームとして取り組んでいきたい。                                            | ・落ち着いた学校生活を送ることができていることが窺える。特色ある教育活動一層推進して欲しい。     |
| ② 教職員としての使命感をもち、情熱と創意工夫にあふれる教育活動を展開する中で5かけの教育を実践する。             | A   |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| 3 情操豊かな生徒の育成のため、潤いと安らぎのある教育環境づくりに努める。                           | B   | ・生徒の意識から、5かけの教育の浸透が見られる                                |                                                                                         |                                                    |
| <b>II 保護者や地域との連携に努める</b>                                        |     |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| ① <u>H Pや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。</u>      | A   | ・H P、学校だより、学年だよりを定期的に発行でき情報提供に努めることができた。               | ・学校だけでは立ちゆかない部分について、P T Aや地域の協力を得ながら学校教育を推進できるよう努めたい。                                   | ・学校を支えたい、応援したいという気持ちをもっている地域の人も多い。この関係を大切にしたい。     |
| 2 地域の施設や人材の積極的活用を図りながら、小学校と連携した教育の推進に努める。                       | B   | ・小中で連携した教育の取組を推進することができた。                              | ・内容については、さらに吟味し、質の向上を目指した連携を行えるようにする。                                                   |                                                    |
| <b>III 確かな学力の育成に努める</b>                                         |     |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| ① 学びに向かう集団づくりに努め、主体的に学ぶ意欲の育成や基礎的基本的な知識・技能の確実な習得を図る（ファイトタイムの活用）。 | B   | ・学びに向かう基盤の部分については、ずいぶん成長の跡が見られる。                       | ・学びに向かう基盤はできつつあるので、それを学習意欲向上に結びつける方策について、工夫改善をしていく。（やりたくなる課題提示、授業の中での問題演習への取組、指導法の工夫など） | ・本校の生徒のよさを大切にしながら、学力向上についても取り組んで欲しい。               |
| 2 わかる・できる・楽しい授業を実践するための指導方法、指導体制の工夫改善を図る。                       | B   | ・授業の流れについて、再確認をし全校体制で取り組むことができた。                       |                                                                                         |                                                    |
| 3 ノーメ・ディアチャレンジや家庭学習へつながる課題の提示などを通して、家庭学習の習慣化に努める。               | B   | ・ファイトタイムの質的改善や（家庭）学習意欲向上への寄与などに課題が見られる。                |                                                                                         |                                                    |
| <b>IV 豊かな心の醸成に努める</b>                                           |     |                                                        |                                                                                         |                                                    |
| ① ハートフルタイムやあいさつ、読書活動、各教科、体験活動との関連を図った指導の充実に努める。                 | A   | ・ハートフルタイムは、道徳性の基盤を養うために有効であった。                         | ・体験した後の指導については、さらに工夫をしていくことでさらに効果的にしたい。                                                 | ・生徒はあいさつをよくしてくれる。こちらも自分たちからあいさつをしていく姿勢を忘れないようにしたい。 |
| 2 道徳の時間の確保に努め、指導法の工夫・改善を行い「道徳性」を育てる。                            | B   | ・生徒のあいさつについては、外部からよくできているという言葉をししばいたいただいた。             |                                                                                         |                                                    |
| 3 教育相談等での生徒理解や生徒を認める関わりを通して、生徒との信頼関係確立と、生徒の自己有用感育成に努める。         | B   | ・休み時間等常に教師が生徒に寄り添い生徒理解に努めようとした。                        |                                                                                         |                                                    |

|                                                |   |                                                  |                            |                                         |
|------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------------|
| V 健やかな体の育成に努める                                 |   |                                                  |                            |                                         |
| ① 健康の大切さを認識させるとともに、生活習慣の乱れや心の問題等による不登校の解消に努める。 | B | ・ネット依存の問題について生徒対象の講話を行うことができたが、なかなか改善に至らない部分もある。 | ・繰り返しあきらめずに、指導を進めていく。      | ・生徒の健全な成長のために、関係機関と連携しながら、粘り強く取り組んで欲しい。 |
| 2 運動習慣を身に付けさせ、個々の実態に応じた体力の向上に努める。              | A | ・教員だけでは解決できない心の問題を抱える生徒も増加傾向にある。                 | ・専門機関との連携の在り方について一層見識を広める。 |                                         |
| 3 生徒の危機予測や回避能力の育成に努め、自他の生命を尊重できるようにする。         | B |                                                  |                            |                                         |